

料金別納郵便



釉彩と印刻の饗宴 西本 直文 展

2010年9月18日(土)～26日(日) 会期中は休まず営業
最終日は5時にて閉廊

京の雅を表現した十二単衣釉彩、艶やかな独特の黒銀彩。伝統の中に常に新しい陶芸を追求される広島の西本さん。今回は器などに更紗模様を印刻した新作を発表されます。「オリエントと和が融合されたシルクロードの様な世界を感じて頂ければ・・・。」との事、皆様ぜひお楽しみにお出かけ下さい。

工芸いま

西本 直文(にしもと・なおふみ)1965、西本 瑛泉の三男に生まれる(広島)。88、日展初出品初入選、以後連続。95、国際美術大賞展'95 イタリア・フィレンツェ出品。フィレンツェ・モンテルポ国際親善賞受賞。2000、ヘルシンキ 2000「茶の湯一現代造形展」選抜出品(ヘルシンキ市立美術館)。2006、日本現代工芸美術展審査員。紺綬褒章受賞。2010、日本現代工芸美術展 蓮田修吾郎賞受賞。

工芸 **いま**

〒104-0061 東京都中央区銀座7-17-5

☎ 03(3542)5707

営業時間 午前11時～午後7時

展示会の会期前後日は休業

十二単釉彩陶器「羅」径22cm 高13cm
銀彩茶盤「雲龍」径12.5cm 高8cm
印刻手付器「蓮」21.5cm 角 高17cm



都営大江戸線築地市場駅A3出口徒歩2分 地下鉄東銀座駅徒歩4分

